

令和4年6月7日

関係各位

一般社団法人気仙沼市医師会
会長 森田 潔
(公印省略)

気仙沼市医師会附属准看護学校の閉校について（お知らせ）

時下 益々ご清栄の御事と心からお慶び申し上げます。

平素より本会並びに附属看護学校の運営に格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会では昭和28年に附属准看護学校、昭和49年には附属高等看護学校を設置して以来、医療従事者の安定的供給と地域医療の充実向上に努めて参りました。

しかしながら、当地域において急速に進行する少子化及び都市部での看護大学等の相次ぐ開学により両校の入学生数は減少の一途を辿っており、近年では非常に厳しい運営状況が続いておりました。

本会では両校運営の安定化を最重要課題に掲げ、関係自治体への支援要請や本会会費の大幅な改定など、財政の立て直しに向けて全力で取り組んで参りましたが、その後も入学生数の減少に歯止めが掛からず、附属高等看護学校の令和5年度（令和6年3月31日）閉校に続き、過般お知らせの通り、昨年には附属准看護学校の令和4年度学生募集中止を止む無く決議致しました。

その後も准看護学校の令和5年度学生募集再開ならびに運営継続へ向け、さまざまな視点から検討・協議を重ねてまいりましたが、少子化が著しい当地域において直ちに入学生数を増やす効果が期待できるような方策を生み出すことができず、また一方で准看護師養成に欠かせない専任教員の確保も困難を極めており、本年5月の定時総会にて改めて准看護学校の今後の運営方針について協議した結果、「これ以上の学校存続は難しい」との結論に達し、在校生が卒業となる令和4年度末（令和5年3月31日）での閉校という決議に至りました。

附属高等看護学校並びに附属准看護学校の閉校という非常に重い決断により、高齢化が進む当地域の医療体制に甚大なる影響を及ぼすことは重々承知しておりますが、何卒かかる事情をご賢察頂きますようお願い申し上げますとともに、附属看護学校の教育活動に携わっていただきました諸先生方、実習施設の皆様方、ご支援を賜りました全ての方々に心より御礼申し上げます。